

城原川ダムの状況について

平成17年8月1日

佐賀河川総合開発工事事務所

城原川ダム



城原川ダムの経過

- 平成15年11月28日 平成15年度 第5回事業評価監視委員会「対応方針」
「河川整備計画が策定されるまでの間、当面基礎調査等に限って継続」
- 平成15年11月13日～平成16年11月 5日（13回開催）
第13回城原川流域委員会「城原川ダムについての提案書」
- 平成16年11月22日 佐賀県知事臨時記者会見
- 平成16年12月 8日～平成17年 5月30日（全11回開催）
城原川首長会議（知事, 背振村長, 神埼町長, 千代田町長, 佐賀市長）
- 平成17年 6月 6日 佐賀県知事臨時記者会見
「城原川の河川整備についての佐賀県の方向性」

発表主旨

流域住民の安心な暮らしを短期間で実施するにはダム手法によらざるを得ないと判断

城原川における河川整備の手法については、洪水のとき以外はダムがない状態と同じように上流の土砂や水が下流に流れ、洪水のときだけ水を貯める「流水型ダム」とでも言うべき方法をとっていただくよう、河川管理者である国に申し入れることとした。

今後の予定

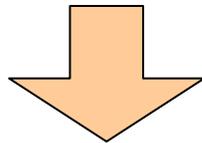


平成18年 3月 筑後川水系河川整備計画策定

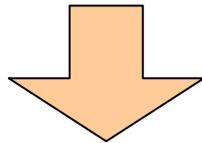
流水型ダムについて（佐賀県知事 提案概要）

流水型ダム《河床に近いところから放流》

- ・ダム湖に水が溜まったり、土砂の堆積するのを最小限に抑える。
[土砂がきちんと流れ下る。水質の変化が避けられる。]

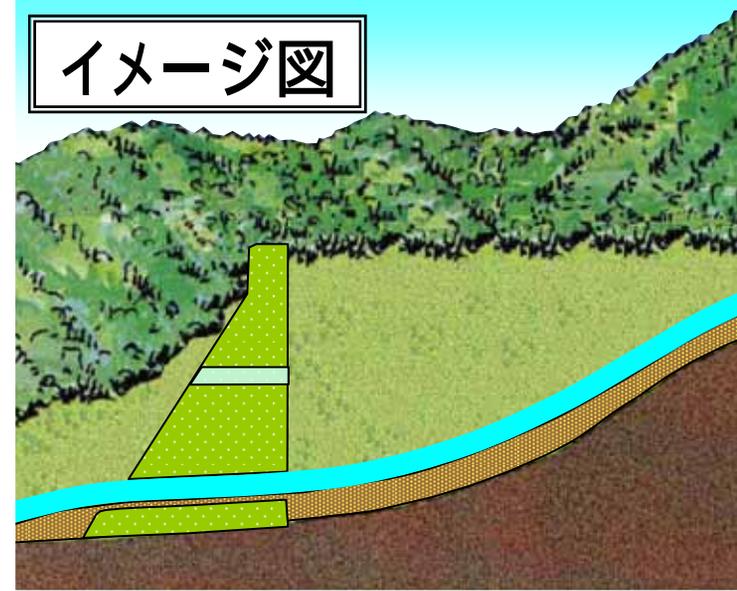


流水型ダムは環境と治水の両面で両立させることのできるダム



今後、技術的な検討が必要

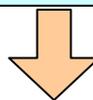
イメージ図



不特定の必要性については、
具体のダムの検討の中で、
決めていく。

筑後川水系河川整備計画策定に向けた今後の予定

平成15年度の事業評価監視委員会で城原川ダム建設事業については、「河川整備計画が策定されるまでの間、当面基礎調査等に限って継続」との対応方針



平成17年6月6日佐賀県知事臨時記者会見
「流水型ダム」によるダム建設を要請



筑後川水系河川整備計画策定に向け、知事提案内容(流水型ダム等)の実現可能性を検討するための補足調査等を実施する。



平成17年度末 筑後川水系河川整備計画策定予定



平成18年度 事業評価監視委員会へ報告予定